

★読み聞かせボランティア活動 (2015.3.24)

今年度発足した、読み聞かせボランティアグループ「YOMUYO(ヨムヨ)」ですが、「ゑびす昭和横丁」への参加や、冬休み期間中の近隣保育園へ出張読み聞かせ等をおこなってきました。今回は春休みの期間を利用して、南国市の保育園に出張読み聞かせに行きました。

次期「年中」クラスの子どもたちを相手に、手遊び歌や紙芝居・絵本の読み聞かせ等を行い、そのあとは園児たちと交流しました。来年度も、活動の幅を広げていきたいと思っています。







★平成 26 年度終業式(2015.3.19)

3 月 19 日、今年度の終業式が行われました。大きな事件や事故なく 1 年間を無事に終え、それぞれが新たな年度への思いを胸に刻んだことと思います。終業式後には伝達表彰が行われました。「読書感想文コンクール」「読書感想画コンクール」それぞれの入賞者、部活動

では書道部と男子陸上部の部員たちが表彰されました。





★春の勉強合宿（2015.3.16ー17）

昨年の夏に続き、この春、二度目の「勉強合宿」が行われました。2年生普通科進学クラスの18名に、進学クラス以外からの希望者2名が加わり、20名が参加しました。

16日の朝8：30山田高校を出発し、バスで土佐郡土佐町・早明浦ダムのほとりに建つ「さめうら荘」に移動しました。そして17日の午後3時に帰途につくまでの2日間、寝食以外のほとんどの時間を勉強にあてました。

“休息と楽しみの時間”である「食事」の場面では、食堂に先に着いた生徒たちが自主的に配膳を始め、それを周囲も手伝うという形が自然とでき、心地よい共同生活が営めていました。「勉強の苦しさ」の前には皆等しい存在であるためか、合宿が進むにつれて参加生徒たちの間には「連帯感」が生まれ、皆どことなく「謙虚さ」を漂わせるようになっていました。新年度を迎える直前の時期に、それぞれが決意を新たに、意欲を増すきっかけになったのではないかと思います。









★卒業式が行われました(2015.3.1)

3月1日、県下の公立高校の卒業式が行われました。山田高校でも普通科全日制130名、定時制11名、商業科28名が無事に卒業を迎え、山田高校の歴史に新しい1ページが加え

られました。終始厳粛な雰囲気、緊張感のある非常に良い式典になりました。卒業生の皆さん、保護者の皆さま、おめでとうございます。







★ライフプラン発表会・合格体験発表会(2015.2.18)

学年末試験を控えた2月18日6限目、今年度の「総合的な学習の時間」の締めくくりとして、2年生の代表者8名が体育館アリーナの壇上で自らのライフプランについて発表を行いました。昨年の12月から、2年生は各々1200字程度の手稿を書き、何度も練り直してきました。1月の総合の時間に、クラス内で発表と投票とを行い、代表者を選出しました。今日の発表では1年生・2年生の普通科の生徒全員が耳を傾ける中、発表者それぞれが、これ

からの「目標」とその目標までの「距離」(現在の自分の立ち位置)、今の自分に足りていない部分、つまり「課題」等について、明確に述べることができていました。2年生は昨年自分たちが先輩の発表を聴く立場だったことを思い出したことだろうと思います。また1年生は、来年は自分たちが発表する番だということをおぼろげながらイメージして聴いたのではないかとおもいます。





続く7限目のロングホームルームの時間、3年生の中から9名が、後輩たちのために時間を作り、合格体験発表を行ってくれました。その進路先は様々で、普通科進学クラスからは「高知工科大学・環境理工学群」「高知リハビリテーション学院・理学療法学科」普通科進学コース以外のクラスから「高知工科大学・経済マネジメント学部」「高知県立大学・看護学部」「高知学園短期大学・生活科学学科」「龍馬ふくし専門学校・看護科」「ザ・クラウンパレス新阪急高知(就職)」商業科からは「県立広島大学・経営情報学部」「山梨学院大学・法学部」にそれぞれ合格した3年生たちが体験を話してくれました。

進路に迷った時にどう考え、判断したのか、どの時期に何を意識して行動に移していたのか、たいへん具体的に話してくれました。悩みや努力した点や支えとなったことなどにそれぞれ違いはありましたが、どの話にも共通していたのは、「私が合格できたのは私一人の力ではなく、友人・家族・先生という周りの人々の助けや支えがあったからです。周りに感謝しています」ということです。もちろん本人の必死の努力があったからこそ、自然と周りの理解や協力や援助を得られることになったのだと思いますが、必死の努力は視野を広げ、気づきを生み、謙虚さにつながるのだということ、目標と努力は本人を大きく成長させるのだということを、改めて感じさせられました。





<修学旅行・3日目の様子>





<修学旅行・2日目の様子>





<修学旅行・1日目の様子>





★吹奏楽部定期演奏会(2015.1.11)

「第 23 回吹奏楽部定期演奏会」が 1 月 11 日(日)に、「香南市のいちふれあいセンター」にて行われました。前半はクラシックを中心とした曲が並び、休憩をはさんだ後半は、さま

ざまな趣向をこらした演出を交えた、ポップな雰囲気の曲が演奏されました。吹奏楽部 O B・高知工科大生が演奏に加わってくださったり、山田高校教職員も協力を惜しまずに司会やダンスをこなすなど、まさに総力で盛り上げた演奏会になりました。スタジオジブリの曲やアナと雪の女王(A L T ミシェルさんが熱唱)、ようかいウォッチや嵐のパフォーマンスなど、3年生8人の引退式までの約2時間、大人も子どもも、飽きる暇なく楽しめました。

吹奏楽部の部員たちは、この大きな演奏会を経て、ひと回りもふた回りも成長したように感じられます。少人数で思うにまかせないことが多々あるだろう中で、さまざまな工夫をしてやりくりし、周りへの感謝を忘れずに取り組んできたように思います。演奏会当日は、思う存分「音の海」の中に身を委ね、本当に気持ちよさそうに演奏していた姿が印象に残っています。







香美市立美術館・芸術合同発表展示会の様子







★芸術三科合同発表会のお知らせ(2015.1.6)



恒例となった「芸術三科合同発表会」も今年で 24 回目を迎えます。1 月 1 0 日(土)～1 月 1 8 日(日)の期間中音楽・美術・書道の授業を選択している生徒がそれぞれ、作品やパフォーマンス等を披露します。場所は香美市立美術館にて。時間は 9 時～1 7 時(最終日は 1

5時まで)。また、吹奏楽部の第23回定期演奏会は、「香南市のいちふれあいセンター サ
ンホール」にて1月11日(日)14時開演で行われます。(入場料300円)たくさんの方に足
をお運びいただけるよう願っております。

★山高イルミネーション(2014.12.18)

今年、初の試みとして中庭にイルミネーションで飾り付けをしました。LEDライトで、
日中太陽光を取り込んで蓄電し、夜は蓄電した分だけ点灯し、自動で消灯するというエコな
イルミネーションです。生徒会有志と元生徒会メンバーが発案し、飾り付けを担当しました。
この日の18時、初めて明かりが灯り、生徒の歓声が起こりました。寒い季節の中、心にも
灯がともったように感じました。





★ホームマッチ冬の陣／女子陸上部壮行式(2014.12.12)





2学期期末試験を12月8日に終え、各ホーム、ホームマッチに向け燃え上がっております。男女混合のソフトボール、男女別バレーボール、ジェンガの各競技、学年予選を行い、その優勝チーム同士で学年を超えた決勝を行いました。どの競技も、プレーヤー・応援ともに熱気がすごく、ホームで一致団結する姿が見られました。総合優勝は2-5。2位2-3、3位1-1という結果でした。



ホームマッチの閉会式後、翌週京都で行われる「全国高校駅伝」に出場する女子陸上部の壮行式が行われました。

★動物解剖体験 (2014.11.22)

11月22日 9:30～化学実験室において、本校では2回目となる「動物解剖体験事業」が行われました。

NPO 四国自然史科学研究センターのご協力のもと、希望生徒18名中10名がリピーター（昨年度も受講した生徒）として参加し、1日真剣に取り組みました。動物はタヌキ3体、ハクビシン1体、チョウセンイタチ1体いずれも事故死した野生動物で、午前は身体測定と記録、お昼をはさんで開腹・除肉作業が行われました。毛を含まない部分の体長や首まわりなど、かなり正確に測定、記録し、身の回りに付いている寄生虫の調査もしました。

「解剖とは気持ち悪いもの」という先入観があった生徒は多かったようですが、実際に参加してみるとむしろ「驚き」や「発見」の連続だったようです。通常の授業や日常生活ではとても体験できない貴重な時間を過ごすことができました。参加生徒は主に医療・看護系希望者で、実習後のアンケートでは、みな興味をもって意欲的に取り組み、たいへん充実した実習となったことが伺えます。



「タヌキはイヌの仲間なので前足は5本の指です」と谷地森先生の説明



タヌキの体重測定の様子。この後トレイのみの重さを量り、引き算します。



タヌキの前脚の長さを測定する様子。肩の骨にしっかりさしを当てて正確に測定します。



チョウセンイタチの外部寄生虫を採取する様子。身体が細長いのがよくわかります。

☆以下生徒の感想より☆

●今回2回目ですが、前は脂肪がたくさんあったので分厚く切っていたけど、今回は子供（のタヌキ）ということで骨が柔らかいのですごく慎重にメスを入れていった。子供の動物は臓器が小さくて色がきれいでした。（2年女子）

●舌を引っ張って臓器を全部取り出す作業が忘れられません。すごかった。（2年女子）

●子供（のタヌキ）の頭蓋骨が大人と比べて発達してなくて、眉間のあたりに溝ができていた。歯も生えそろってなかった。今度は是非朝倉（高知大学）での解剖にも参加したいと思います。（2年女子）

●私は今回で2回目なので去年より余裕があり落ち着いて周りのことを観察しながら実施できました。解剖する中で、心臓や肺、胃などを詳しく見れたのが良かったです。タヌキの死因なども分かったのもその点は去年より高められた点だと思います。匂いがキツくてツラかったけど、頑張れた自分を褒めたいと思います。（2年女子）

●初めのほうは怖かったけど、中頃になると積極的に参加することができた。将来的に解剖もあるので、この機会に解剖することへの抵抗性や手順を身につけることができ、本当に良い経験になりました。（3年女子）

●将来看護師になりたいと考えていたので今回の事故で死亡したハクビシンの体内を見て、「このようなことになっていても助けたい」と思いました。（3年女子）



★職業別講話・薬物乱用防止教室（2014.11.19）

総合の時間、1年生全員が、職業意識の向上および将来の進路を真剣に考える態度を育成することを目的に、社会で活躍されている方々のお話をお聴きしました。

毎年行っているこの講話ですが、今年は、講師の方々がすべて山田高校の卒業生という共通項がありました。





講師としておいでいただいたのは、函南病院から看護師の弘末さん(H 3 度卒業)、高知銀行にお勤めの小松さん(H 4 度卒業)、クラフト設計尾田さん(S 5 1 度卒業)、香美市役所香北支所公文さん(S 5 7 度卒業)、香美水道組合の中澤さん(S 4 0 度卒業)、飲食店を經營されている森本さん(H 5 度卒業)、管公学生服高知營業所の小松さん(H 3 度卒業)でした。





1 年生の生徒たちは、メモを取りながら真剣にお話に耳を傾けていました。各界で活躍されている先輩方の姿を拝見したことで、山田高校の魅力を再発見し、母校への誇りを持つことにもつながったと思われます。



2 年生は、ロングホームルームの時間に「薬物乱用防止」について学ぶ機会を得ました。香美警察署から署員の方においでいただき、薬物乱用防止に関するDVDを観たあとにお話を聴きました。もし知り合いから覚せい剤をすすめられたときに断るコツは、「Noときっぱり言う」「興味がないなど、いらない理由を言う」「何度もいらないという」「話題を変える」「用事を思い出したと言って、その場を離れる」ということでした。

★マラソン大会 (2014.11.14)

晴天の中、今年度もマラソン大会を無事開催することができました。今年度は男子10.6km、女子8.8kmの行程を、一人のリタイアを出すこともなく全員走り切りました。開始前は、上位を狙う意欲的な顔、不安そうな顔、いやでたまらないという顔と様々な表情が見られましたが、閉会式では一様に、どの生徒も達成感と安堵感とに包まれていたように思います。







午後の閉会式で、各学年男女別に、上位 8 人が表彰されました。生徒と共に完走を成し遂げた濱田校長先生も、特別表彰を受けました。今日の「つらいことから逃げずにやり切った」という得難い体験は、個々の生徒の心に、いつまでも残るだろうと思います。マラソン大会終了後、前期生徒会役員の解任式と、後期生徒会の認証式も行われました。

★総合・LHの時間(2014.11.12)

この日の「総合的な学習の時間」と「ロングホームルーム」の時間は、各学年に分かれ、活動を行いました。



1年生普通科は、「キャリア教育講話を受けての生徒発表会」を行いました。以前高知工科大学で聴いた講義の内容を、パワーポイントを使ってプレゼンテーションをするというものです。情報の授業では全員が発表を行いました。この日は各ホームの代表者2名が発表しました。生徒発表を受けて、高知工科大学からおいでくださった3名の先生方から講評をいただきました。2年生全員は、車椅子バスケットチーム「高知シードラゴンズ」のメンバーの方々においでいただき、体育館のアリーナで人権LH「障がい者問題を考える 車椅子バスケット」に取り組みました。車椅子バスケットの観戦では、迫力のプレーに一同息を呑み、生徒も参加しての試合では応援・歓声・拍手・笑いなどが起こり、始終あたたかな雰囲気で行いました。全員が、車椅子乗車体験を行ったあと、交流タイムで多くの質問や感想などが出ました。終わりに、代表生徒が「車椅子バスケットは、障がい者と健常者とが分け隔てなく行えるスポーツなんだということがわかり、スポーツの理想であると感じました」という感想とともに感謝の思いを述べると、多くの生徒がうなずき、その思いを共有しました。



一方社会に出る日を目前に控えた３年生は、「高校生のための消費者研修」として、消費生活センターから講師をお招きしお話を聴きました。この研修は、例年この時期に３年生を対象に行われています。社会に出た途端急に一社会人として扱われ、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。主体的な消費者として身に付けておくべき態度や注意点を、わかりやすくお話いただきました。

★ホームデー(2014.11.7)

晴天の中、ホームデーが行われました。

1年生は、普通科・商業科全員が、「物部川河原」にて・3年生の1クラスは「野市青少年センター」にて、それぞれバーベキュー・レクを行いました。1年生は、肉と野菜の通常のバーベキューを楽しんだ後は、クッキーやマシュマロを焼いたり、チョコレートを鍋で溶かしてチョコフォンデュをしたり。後片付けも含めたすべての活動を通して、クラスや学年の団結力が強まり、思い出に残る1日となりました。3年生は、高校最後となるホームデーを目一杯楽しもうと、バーベキューもレクも、全力で楽しみました。



2年生普通科4クラスと3年生の2クラスは、「レオマワールド」へ・2年生商業科と、3年生の2クラスは「鷺羽山ハイランド」へ行きました。フリーバス券を使って乗れるだけのアトラクションに乗ろうと、昼食の時間も惜しんで走り回ったグループ、昼食バイキングをゆっくり楽しんだグループ、乗り物は苦手だけれど、見物や買い物を楽しんだ生徒…と、思い思いの1日を過ごしました。







★いちむじんの演奏を聴きました (2014.11.5)



山田高校では3年に一度「総見」として、芸術に触れる機会を設けています。その3年に一度の機会に当たる今年、「いちむじん」が山田高校の体育館に足をお運びくださり、演奏をお聴きすることができました。「いちむじん」は、今や世界で活躍される、高知県出身の宇高靖人さん山下俊輔さんによるクラシックギターデュオですが、お二人の飾らないお人柄、軽妙なトークといった部分で、演奏以外でも楽しく、すばらしい時間を過ごすことができました。

演奏曲は、「ノストラダムス」「紫陽花」といったオリジナル曲から、「情熱大陸のテーマ」「ありのままの」(映画『アナと雪の女王』)「ひこうき雲」(映画『風立ちぬ』)そして「龍馬伝のテーマ」などなど。曲によって迫力のある音、切ない音、和楽器のような音と、1本のギターからさまざまな音色が飛び出してくることに驚かされました。









体育館での演奏後は、音楽室に場所を変え、ワークショップが行われました。少人数でリラックスした雰囲気の中、ギターの基本練習に関するコツや注意点を教えていただいたり、ギターにとどまらないお話をしていただいたりしました。「3年生なので、面接試験を控えています。緊張しないコツがあれば、教えてください」という生徒の質問に対しては「練習を毎日でもして経験値を上げれば、面接は特別な場面ではなくなるから、身構える必要がなくなると思いますよ。想定外のことは何もないと言えるくらいイメージトレーニングもす

るといいと思います」と丁寧に答えてくださったり、ギターに関しては「漫然と練習するのではなく、意識してゆっくり練習の方がいい。僕らは指で弾いているのではなく、頭で弾いているから、理解しながら次へ進むのがいい」と貴重なアドバイスをくださったり。生徒たちは時折笑顔を見せつつ、頷いたりメモを取ったりしながら、真剣に聴き入っていました。山田高生の印象をお尋ねしたところ、「静かに聴いてくれていたんですけど、おとなしいというより、聴き入ってくれていたと思います。音楽が伝わったという感触がありました」とおっしゃってくださいました。

★1年生特別授業（2014.10.31）



10月31日、教育実践家の藤原和博さんが来校し、1年生全員に対して「よのなか科 ～キャリア教育編～」と題して一斉授業を行いました。1年生全員が体育館のアリーナで“授業”を受けるという、今までにないスタイルで行われた授業は、アタマを柔らかくするトレーニングから始まり、多面的なものの見方を学んだあと、将来の仕事や「働く」ことに対するイメージを膨らませるといったものでした。グループでの話し合いが中心となるテンポの速い授業に、少し戸惑っている生徒もいましたが、次第に活発な議論が交わされ、他にはない「希少性」を身につけようという結論には、皆が納得していました。





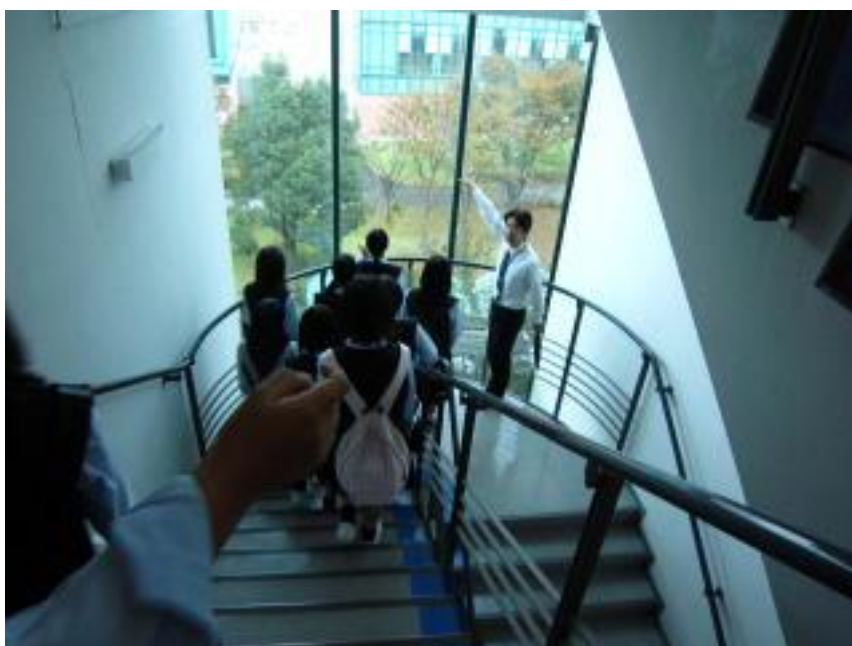
★高知工科大学施設見学・大学等出張授業（2014.10.22）



●高知工科大学施設見学

10月22日(水)総合学習の時間とLH(ロングホームルーム)の時間とを使い、1年生は高

知工科大学へ行きました。大型バス3台で移動し、工科大では全員一度教室で説明を聴き、6班に分かれて大学内を見学しました。講義の部屋、研究室、教員の部屋、図書館食堂などの施設を見て回ることができましたが、体育館や寮は、あいにくの雨で見学できませんでした。ガラス窓が多いせいか全体に明るく、オープンスペースがたくさんあり、広くてきれいな建物に、生徒たちは感激していました。





●大学等出張授業

1年生が工科大へと足を運んでいた同じ時間、2年生普通科の生徒は、大学出張講義を受けました。



「ジェンダーと日本近代文学」(徳島文理大学文学部・中山弘明先生)

「人間が2本足で立つ仕組み」(徳島文理大学保健福祉学部・田頭勝之先生)

「幼児の世界」(鳴門教育大学大学院学校教育研究科・木下光二先生)

「価値について考える」(高知工科大学マネジメント学部・上村浩先生)

「南海地震に備える」(高知大学理学部南海地震防災センター・松岡裕美先生)

「Lifeを守る」(高知県立大学看護学部・井上正隆先生)

生徒たちは、各々進路希望や興味に合わせ、上の6講座の中から選択し、講義を受けました。それぞれに難しく、理解の及ばない内容も含まれた講義だったようですが、そういったところに学問の奥深さを感じ、学問への憧れを強くした生徒たちもいたように思います。





★進路講演会が行われました(2014.10.17)

第12回サフラン賞を受賞された高知市出身の堀内佳美(ほりうちよしみ)さんが「全盲の私がなぜタイに図書館を作ったのか～自分にもできること、自分にしかできないことを探すということ～」という演題のもと、山田高校で講演をしてくださいました。堀内さんは、生後間もない頃、視力がほとんどないという診断を受けられ、高校生のときに失明されたそうです。その頃から国際協力や国際交流の分野に興味を持たれていたそうですが、高知から県外の大学へと進まれ、アメリカ留学を経てタイに移住されました。「ARC(アーク)どこでも本読み隊」を設立され、タイの子どもたちへの読み聞かせや移動図書館の運営に携わられました。現在は常設図書館の設立と、タイの少数民族の幼児のために教育活動もされています。2学期の中間試験がちょうど終わったこの日、生徒たちは試験を終えた安心感、解放感の中で講演を拝聴し、進路や、自らの生き方を考える上で大いなる力をいただけたのではないかと思います。



あーくどこでも本読み隊
Always Reading Caravan



1. 移動図書館
Mobile Library
2. 地域に根差した図書館と地域活動
Community Library and Outreach



☆生徒の感想より☆<

私は今日の話を書いて、もう一度自分の身の回りのことを考え直そうと思いました。外国のことが知りたくなり、将来できるなら外国に行きたくなりました。そのために、英語は苦手だけれど少しずつでもがんばります。今回貴重なお話を聴けて、いろんな考え方があることがわかり、本当に良い体験ができたと思いました。(1年女子)☆演題を見たとき、なぜタイなのか、タイには図書館がないのかと思ったけれど、アメリカの学校でタイの人と仲良く

なって、そこからタイに興味がわいたということと、タイでは本が高くて、図書館はあっても30年前くらいの古い本とかばかりで、幼い子どもが読めるような本がないということがわかりました。タイには70以上の民族がいること、本の値段がラーメン5杯分くらいということに驚きました。(1年男子)☆私は、まだ将来の夢がはっきりとは決まっていません。だけど、堀内さんのようにいろんなことにチャレンジしていくことで、自分のやりたいことが見つけられるかもしれないと思いました。留学は難しいかもしれませんが、地元のボランティアなどに積極的に参加して、経験を積みたいと思いました。とても参考になりました。(1年女子)☆一番印象に残っているのは、堀内さんの話にマイナスなところがひとつもなかったことです。初めから終わりまで前向きに考えられていて、本当に素晴らしいと思いました。堀内さんが今までいろんな人に感謝してタイまで行かれて、大きな恩返しをされたんだということが強く印象に残りました。(2年女子)☆堀内さんは海外に行ってまで図書館を作っていてすごいなと思いました。私は、進路はまだ決まってないけど、人を笑顔にするような仕事に就きたいなと思いました。(2年女子)☆堀内さんの仕事の原動力は「やりがい・意地・責任」と言っていました。私も仕事をするためには、この3つが大事だと思います。私も自分のしたい仕事に就き、積極的に行動したいと思いました。そして、一度は外国へ行きたいと思います。(2年女子)☆目や耳、足などの不自由があろうがなかろうが、自分にしかできないことがあるんだとわかりました。私はまだ将来のことを具体的に決めていなくて、内心とても焦っています。堀内さんの話を聴いて、勉強や部活、進路選択など少しずつがんばっていこうと思えました。(2年女子)

★中学生体験入学 (2014.10.3)

本年度の山田高校の体験入学は体育館アリーナにて、吹奏楽部の歓迎演奏と書道部の書道パフォーマンスで幕を開けました。吹奏楽部の『学園天国』の曲に合わせ、書道部がスピード感溢れるパフォーマンスを行い、中学生を始めとする観客を魅了しました。演奏の終了とパフォーマンスの終了とがぴたりと合い、書道作品が披露されました。続いて山田高校について説明があり、どんな生徒さんに入学してもらいたいのか、というようなお話を申し上げました。そして、国・数・英・理・社・芸術(美術・書道・音楽)・家庭科・体育などの各希望教科に分かれ、体験授業を受けていただきました。授業後には部活動体験もありました。今日来てくださった中学生の皆さんと、来年またこの山田高校でお会いできることを、教職員一同心待ちにしています。







★体育祭(2014.9.26)

秋晴れで、汗ばむくらいの天候の中、体育祭が行われました。夏休み明けの2学期初めから練習がスタートし、徐々にギアを上げながら本格化していきました。「情熱体育～燃やし

尽くせ全ての心を！！～」というテーマ通り、競技も応援も燃え尽き、終わってみれば、赤・青・黄の各団とも見事に一致団結し、勝っても負けても感動の体育祭になりました。

足をお運びくださったご来賓、保護者の皆さま、地域の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。











★ゑびす昭和横丁(2014.9.20－21)

年に一度香美市の商店街で行われる「ゑびす昭和横丁」に、今年山田高校から8もの団体が参加しました。「おいで屋」の店舗では『商業科とトータルビジネス部』による「商姜(しょうが)なかよしまんじゅう」とパンの販売。『ゑびす昭和検定プロジェクト』による、クイズラリー。『読み聞かせボランティアグループ YOMUYO(ヨムヨ)』による、絵本と紙芝居の読み聞かせや手遊び。「清笑屋」では『商業科2年生』『生徒会』が、射的・輪投げの店をし、小さなお子さんや小学生の列ができていました。『吹奏楽部』の演奏と、『音楽科授業選択生徒』によるコーラスやバンド演奏等が、「街角音楽隊会場」で行われました。『書道部』が、吹奏楽部の演奏に合わせて書道パフォーマンスを行ったのも、実に見事でした。幅広い年齢層の地域の方々と交流できたことで、山高生たちに「自分たちが地域に支えられていることへの自覚と感謝」「自分たちも地域に貢献できるんだという自信」が芽生えたように感じられました。どの参加生徒の顔にも「やらされている」という感じはなく、充実感が漂っていたのが印象的でした。











★オープンキャンパス報告会 (2014.9.9)

総合の取り組みで夏休みに訪問した大学・短期大学・専門学校の「オープンキャンパス」についての報告を、各クラスで行いました。夏休み前には、事前に各学校について調べ、準備をしました。夏休み明けの総合の時間を使って、それぞれ報告内容を模造紙にまとめました。クラスでの発表は緊張を伴ったと思いますが、質疑応答に対する受け答えもそれぞれできていました。台風12・11号に伴う大雨のために、オープンキャンパスが中止になった学校もありましたが、調べたことを発表することで対応していました。





★「読み聞かせボランティアの会」講習第2回(2014.8.22)

「読み聞かせボランティアの会」の講習第2回が行われました。夏休みも終わりに近づいた8月22日、悪天候の中「高知こどもの図書館」館長・古川佳代子さんが再びおいでくださいました。生徒の集まりがあまり良くなかったものの、折り紙や絵本読み聞かせの実践を行っていただき、発見のたくさんある講習会になりました。

以下、参加生徒の感想です

☆折り紙が折れて楽しかったです。読み聞かせはすごく緊張して早口になってしまったけど、いい体験ができたと思いました。今日は雨も降っていて天候の悪い中、わざわざ来ていただきありがとうございます。(2年男子)☆保育士志望ではないですが、自分が母親になったとき役に立つと思いました。絵本を読むとき、どうすれば聞き手にわかりやすく読めるかということや、折った後に遊べる折り紙など、興味深くておもしろかったです。折り紙は子どもだけではなく、外国の方とのコミュニケーションにも使えるというのは驚きでした。(3年女子)☆今日の会に参加でき、折り紙や絵本の持ち方・伝えたいことなど詳しく学べました。他の人が絵本を読む姿を見て、良い所や直したらいいところなどを見つけることができ、自分の読み聞かせに生かすこともできました。(3年女子)





★International Day を行いました。(2014.8.22)

夏休み中の 8 月 19 日、高知工科大学の留学生 5 人を招いて“International Day2014 in Yamada High School”を行いました。1・2 年生の生徒約 15 人が参加し、2 時間 45 分の間、

ほぼ“only English”で自己紹介やゲーム等に興じました。始まりこそ堅めの雰囲気でしたが、時間が経つにつれて打ち解け、あちらこちらで笑い声や歓声が上がっていました。





★「読み聞かせボランティアの会」始動(2014.7.25)



保育士志望・ボランティアに興味がある・子どもが好きで触れ合う機会を持ちたいと思っている…そんな生徒たちを集めて「読み聞かせボランティアの会」を結成することになりま

した。初日の7月24日、希望者4人が集まりました。夏休み中とあって、他の用件と重なり、残念ながら今回の参加を断念した生徒たちもありましたが、今回集まった4人にとってはたいへん貴重な機会になったと思います。



第一回はNPO 法人「高知こどもの図書館」館長・古川佳代子さんが講師としておいでくださり、いろいろなお話を伺いました。図書館の館長さんという立場に至るまでの経緯、さまざまな職業や立場を経られたからこそ得られた、たとえば人に依頼するときに必要なことや気持ちの伝え方。子どもと絵本との幸福な出会いをサポートするために気をつけておくということ。実践的な手遊び・読み聞かせのコツの指導とお手本。そして最後にお見せくださった、実際のストーリーテリングの迫力には、全員が引き込まれ、圧倒されました。印象的だったのは、「今やりたいこと、なりたいものがあるなら、そこに向かって、少しでも好奇心の働くものにはチャレンジしたり飛び込んだりしておくことも大切」だけれど、だからといって目指していたものが何か違う、と感じた時にそこにしがみつくと必要はなくて、いつでもやり直したり、方向を定め直したりしていいんだというお話です。そういった、保護者や学校の立場ではなかなか言えないようなお話を、「身近な大人」の立場としておっしゃってくださったことに感謝します。

以下、参加生徒の感想より

☆読み聞かせは保育士になるのに必要なことなので、この会に参加して良かったです。最後のお話はすごくおもしろかったしこわかったです。話し方がすごく上手で、どんな読み方をしたらいいかなど参考になりました。(2年女子)☆絵本の持ち方など、知っていそうで知らなかったことが学べて良かったです。ピッピとチッチには本当に驚きました。ストーリーテ

リングを聴いて、私もあんなふうにできたらいいなと思いました。(2年女子)☆読み聞かせをうまくなりたいと思った。最後の話ちょっとびっくりした。(2年男子)☆最後のストーリーテリングで一気に持っていけました。読み聞かせをする側の心構えを考えるのは初めてで、いろんな話を聴けてよかったです。今回のことを忘れないようにして、次回の読み聞かせの実践に生かしたいと思いました。手遊びは高校生の私でも楽しめました。(3年女子)

★山田小学校との交流(2014.7.24)

今年、山田高校の生徒を山田小学校へと派遣する「夏休み加力学習サポーター」という活動を行うことになりました。7月23日から始まり、計6日間、午前中に生徒たちは山田小学校へ赴き、宿題を見てあげたり、わからない箇所を説明したりします。小学生との交流を楽しんだり、かわいらしい行動に目を細めたり、説明の難しい所に頭を悩ませたりしつつ、山高生にとっても貴重な体験になっているようです。山高1年生から3年生まで、17名の生徒たちが自ら参加を表明し、取り組んでいます。





★勉強合宿 2014 (2014.7.24)

1 学期終業式を 7 月 18 日(金)に終えた翌日の 19 日(土)・20 日(日)、2 年生Ⅱ型クラス(進学コース)のメンバーは「香北青少年の家」にて 1 泊 2 日の勉強合宿を行いました。朝 9

時台から夕方5時半まで、生徒たちは集中的に勉強に取り組みました。いずれの教科も、日頃行えない十分な説明・内容などを補うことができ、有意義な講義になりました。基礎力のアップを図るのみでなく、勉強の仕方を見直したり、興味・関心の幅を広げたりと、生徒たちにとってもそれぞれ得るものがあったと思います。

長いようで短かった2日間を経て、生徒たちの仲間意識や積極的な姿勢等に、良い変化が見られたようにも感じます。忘れられない夏の思い出のひとつになったようです。







★大木トオルさんの講演会がありました(2014.7.7)



去る7月4日(金)、音楽家・国際セラピードッグ協会代表として著名な、大木トオルさんの講演会が催されました。香美市が「生涯学習推進大会」を開催するにあたり、氏を講師と

してお招きしていたのですが、その前日に本校でもご講演いただけることになりました。思わぬ幸運にあずかった形で、生徒・教職員一同貴重な機会に恵まれました。

捨て犬たちの救助とともに、セラピードッグ育成のパイオニアとして活躍してこられた大木さんご自身の体験をお聴きして、命の大切さや出会いのかけがえのなさについて、改めて気づききっかけにできたと思います。



山田高校図書室でも、今『名犬チロリ 日本初のセラピードッグになった捨て犬の物語』をはじめとする大木さんの著作を特集して置いています。チロリの、ひたむきでいじらしい表情の写真が満載です。

★保健講話・進路ガイダンス(2014.6.25)



6月18日(水)総合的な学習の時間とロングホームルームの時間、2年生は保健講話・3年生は進路講演を聴き、それぞれに考えを深めることができましたと思います。2年生の生徒は、助産師の有澤久子さんによる「いのちの教育 ～すばらしいこととしてつたえたいことがある～」という講話を聴きました。27年間お産に関わられてきて、ひとつとして同じお産はなく、一人として望まれずに生まれた命はないとおっしゃっていました。たくさんの思いが詰まったお話の数々に、生徒は自分自身を「生まれてきた命」の立場として、あるいは「これから命を生み、育む」立場として、耳を傾けていたようでした。〈写真：保健講話の様子〉

3年生普通科Ⅰ型と商業科とは、は「本気の進路選択！」という演題で、Tiac土佐情報経理専門学校・近藤由枝さんのお話を聴きました。「6秒で8割決まる！」というフレーズがたいへん印象的で、生徒たちの心にも刻み込まれたのではないかと思います。面接での印象を決定づける要因やマナー等について詳しくお話をいただきましたが、それらは決して、「借り物を背負ったり、着飾ったりする」ことではなく、日々の心掛けや気持ちのありようが大切なのだということがよくわかりました。

一方3年生普通科Ⅱ型では、土佐塾予備校楠瀬英彦先生に、「社会も大学も変化する中で、進路実現に向けたひと夏の過ごし方」と題して、特に現役高校3年生がこれから迎える夏をどのように過ごすべきなのか、また、さまざまな入試制度の中でどのように進路を決定すべきか等について、お話しいただきました。

★人権教育講演がありました。(2014.6.13)



6月11日(水)総合的な学習の時間・ロングホームルームの2時間を使い、「ケータイ ～今、私たちが考えたいこと～」という演題で、講演をお聴きする機会を得ました。講師は、千斗枝(せんとし)グローバル研究所・山中千枝子先生です。先生は、年々深刻化するケータイの問題について人権の視点から捉えられ、さまざまな場所で講演や活動をなさっています。具体的な事例を交えた講演はたいへんわかりやすく、ケータイ・スマホを私たちの身近な問題として捉え、危機感を覚えるのに十分でした。既読スルー」といって、「LINE(ライン)のメッセージを読んでいながら返さない」ことをいじめの理由にしたりということがありますが、そのような風潮を「返事を急ぐ場合には、会って話すか電話をすればいいわけで、返事を急がない場合にメールなどのツールを使うものです。これが世界の常識！」とばっさり斬られていて、溜飲が下がる思いがしました。

以下、生徒の感想からいくつかご紹介したいと思います。

☆ネット犯罪でかなりヤバめの高知県内でも起こっているのを知って、本当に身の回りでもあることなんだと思いました。確かに自分もスマホを持つようになって、言葉が出なくなったり集中して人の話を聞けなくなり、行動が遅くなってしまったなあと感じます。一時期ネット友600人ぐらいつくっていたりして、あの頃は危なかったんだなと思いました。

(1年・女子)

☆小さな子に親のスマホを持たせていたりすることがあるのを知り、驚きました。脳などに良くないと聞いたことはありましたが、小学生や幼児が使っているのは怖いなと思いました。1日に3時間ゲームをただけと軽く考えていましたが、3時間でも中毒になることを知り、やめる努力をしないといけないなと思いました。(1年・女子)

☆講師の先生の話聞いてるうちに、なんの考えもなく使っている自分が怖くなりました。

た。依存症の話では、自分ももしかして…？と思ってしまいました。先生のおっしゃる通り、スマートフォンは便利だけど、その裏には危険がある。諸刃の剣だなと思いました。(1年・男子)

☆写真や画像に GPS 機能が付いているのを初めて知った。むやみに写真や画像を送ったり載せたりするのをやめようと思う。また、ネット依存の人のエピソードは怖いと思った。ケータイ・スマホのために人生を狂わせたり自殺したり犯罪につながったりということが現実にあって、怖い世の中だと思った。(2年・女子)

☆今回の講演を聴いて、次の世代の教育をどうしていけばいいのかということについて考えさせられました。自分が将来親になったとき、時代はもっと電子機器に支配されているだろうと考えられます。その時、子どもの教育についてしっかりと意見や分別を持って生きていきたいと思います。(3年・男子)

☆私も LINE をしているけど、返信が遅いことはしょっちゅうあるし LINE とかより学校で直接話すほうが楽しい。ゲームも楽しいけど、友達と遊んだり本を読んだりしているうちにゲームの存在感はなくなっていった。私自身、送信の内容を考えるより、友達と笑いながら話すほうが好きだから、LINE とかは、会えないけど聞きたいことがあるときに使っている。スマホのメリット、デメリットを知って使わなければいけないと思った。(3年・女子)

☆私も昔はネット中毒でした。あることがあって携帯を取り上げられ、すごくしんどくて暴れました。でも、冷静に考えてみるとそんなに四六時中触っていないといけないものではないと気づき、今はそういうことがなくなりました。(3年・女子)

★ホームマッチ夏の陣(2014.6.6)

昨日6月5日に中間考査が終わり、本日6月6日、ホームマッチが行われました。雨天のためソフトボールが卓球に変更になりましたが、大いに盛り上がりました。総合順位は、1位(優勝)3-2・2位3-4・3位1-1と1-5(同率)という結果になりました。梅雨にも負けず6月病にも負けず、元気と笑顔のはじける一日でした。





★第67回高知県高等学校体育大会開催される(2014.5.26)







★県体壮行式(2014.5.23)

5月24日(土)から始まる県体に向け、壮行式が行われました。





★PTA 総会がありました。(2014.5.17)

平成 26 年度 PTA 総会を無事開催することができました。ご参加くださった保護者の皆様に感謝いたします。



総会後の進路講演では、流通経済大学参与・水野先生に「間違いをしない ための進路選択」と題したお話をしていただきました。簡潔でわかりやすく、的確なお話で、保護者の方々からも好評をいただいたようです。お昼の食堂無料試食をはさみ、午後は各ホームに別れての懇談あるいは面談が行われました。たいへん有意義な 1 日であったと思います。来年度の

PTA 総会にも、ぜひ多数の保護者の皆様に足をお運びいただき、山田高校の取り組みを身近に感じていただきたく存じます。

★遠足(2014.5.2)

山田高校一高知工科大学間を、全校生徒が徒歩で往復する、山田高校伝統行事が今年も行われました。4月28日雨天のため、5月2日に延期になりました。当日は晴天のもと、生徒たちは心の底からのびのび楽しんでいました。「長縄大会」では1位2-3(跳んだ回数なんと74回!)2位2-4、3位3-4という結果になりました。4月の初めから、長縄の練習風景が見られるのも、山田高校ならではです。この練習と本番とを通じて、クラスの団結力が高まっていくのです。「アームレスリング大会」男子1位が先生という番狂わせもありつつ、皆応援に力がこもり、大いに盛り上がりました。

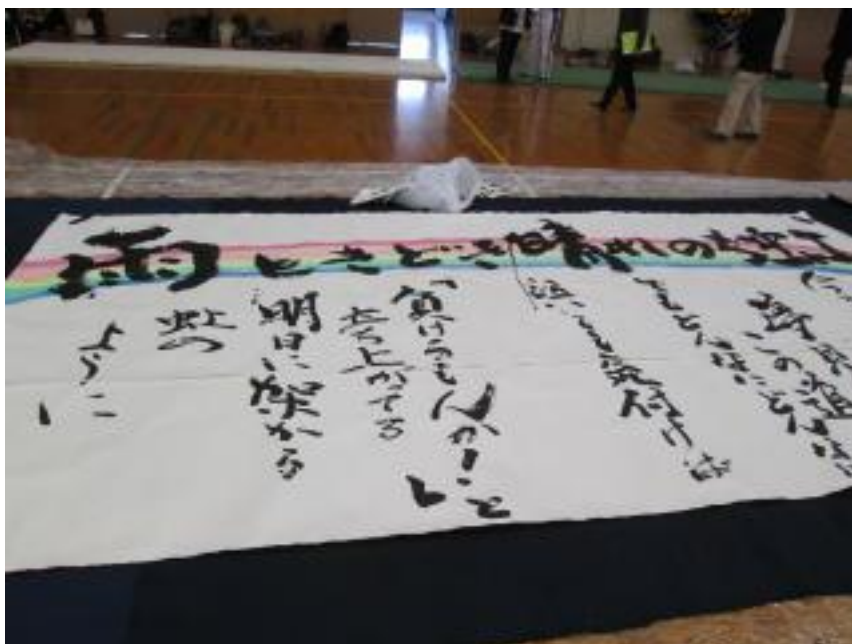




★部活動紹介(2014.4.9)

同じく、山田高校春の風物詩のひとつに数えられる、「部活動紹介」です。何より、部活

動紹介をする上級生たち自身楽しんでいるのが伝わってくるのが、良いところです。









★対面式(2014.4.8)

山田高校春の風物詩との評判も高い「対面式」が4月8日行われ、新入生と在校生との顔合わせが行われました。生徒会による催しに、生徒・教職員一同爆笑の渦に包まれました。





★入学式(2014.4.7)

4月7日、平成26年度入学式が執り行われ、普通科121名、商業科26名、計147名が、山田高校生として正式に迎え入れられました。



